

## (1) 分野別計画骨子案作成にあたって

- 長期計画策定後、区民・区政を取り巻く社会環境は大きく変化しており、区政課題は高度化・複雑化している中、施策の目指す姿を着実に実現するためには、現状の到達点を具体化し、区の課題を的確にとらえ、確実な行政計画を推進することが求められている。
- 長期計画(後期)策定にあたり、各施策ごとに施策所管課・関係課に対しヒアリングを実施。ロジックモデルを用いて、「目指す姿(最終アウトカム)」に対して各事業がもたらす結果(アウトプット)、効果(アウトカム)の総点検を行った。その上で、施策ごとに区固有の課題を抽出し、今後必要な取組・指標を整理した。

## (2) 取組方針の追加

- 現行計画では、行政需要、複雑化する区民ニーズに的確に対応ができていない施策においては、取組方針を追加し、新たに成果指標を設定することで、長期計画の着実な推進を目指す。

### 【追加した取組方針】

施策名	追加する取組方針	理由
施策1 みどりの中の都市「CITY IN THE GREEN」の実現	生物多様性の保全	これまで生物多様性の保全について、取組方針2「水辺と緑のネットワークの形成」で取り組んできたが、生物多様性の保全の観点から「エコロジカルネットワークを形成」するとともに、生物多様性に対する区民・事業者への理解を醸成する必要がある。
施策9 次世代を担う青少年の健全育成の推進	青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備	違法・有害情報の拡散、ネット上のいじめや誹謗中傷、ネット依存、SNSに起因する犯罪被害等、インターネット利用による弊害も深刻化していることから、区民を取り巻く社会環境の変化を的確にとらえ、対応していくことが求められている。

## (3) 分野別計画の構成

- 施策の目指す姿、現状、課題、取り組みなど施策の全体像を簡潔でありながらも、読み手が具体的なイメージを持てるよう、区民にとってわかりやすい平易な言葉で記載するよう努めた。
- これまでまとめて記載していた代表指標・取組方針の指標を分別して記載するなど、区民に伝えるべき情報を構造的・体系的に整理した。

## (4) 指標の見直し

- 区固有の課題・取組内容を明確化したことで、目標への到達度合いを測る成果指標も再度総点検を実施。
- これまで成果指標が設定されていない取組方針には新たに設定するとともに、既存の指標も見直しの上、指標を変更することで、取り組みの成果をより明確化し、事業改善に活用する。

### 【参考1】長期計画(後期)分野別計画成果指標一覧

新規/変更 (全163指標)	新規 指標数	51指標
	変更 指標数	9指標

【大綱2】未来を担うこどもを育むまち 基本施策5 こどもの未来を育む地域社会づくり

施策9 次世代を担う青少年の健全育成の推進

**目指す姿**  
家庭、学校、青少年関係団体および行政等がそれぞれの役割を果たすとともに、相互に協力・連携し、青少年の健全育成に向けて地域全体で取り組む社会が実現しています。

**代表指標**

指標	現状値	目標値
青少年が健全に育つことができる環境が整備されている割合	**	**

**現状**

- こども・若者が心身ともに健やかに育成され、意見表明の機会の確保、政策形成過程への参画を促進するよう、国及び地方公共団体は責任を負っています。
- 江東区では、これまで青少年(中学生～35歳未満事業によっては40歳未満の者)の健全育成や活躍の場の提供のため、関係機関・団体と連携して、ネットワークづくりやリーダー養成等に取り組んできました。
- 青少年期のつまずきや悩みなどもある、家族の介護等が必要でこども・若者自身が介護者(ヤングケアラー等)とならざるを得ないなど、社会的に困難を抱えるこども・若者が存在しています。
- 全国的にこども・若者のインターネット利用時間は年々増加し、低年齢化しているほか、違法・有害情報の拡散、ネット上のいじめや誹謗中傷、ネット依存、SNSに起因する犯罪被害等、インターネット利用による弊害も深刻化しています。

**課題**

- 青少年の自己肯定感の低さが問題となっていることから、意見表明の場や、社会活動への参加機会を提供できるような青少年の拠点となる居場所が必要です。
- 地域のつながりの希薄化が懸念されるなか、青少年の地域での活動を促すとともに青少年活動の指導役を果たせる人材の育成が必要です。
- 個々の状況に応じたきめ細かな支援ができるよう、関係機関・団体の更なる連携の強化が求められています。
- ネット上のいじめや誹謗中傷、ネット依存、SNSに起因する犯罪被害等のトラブルを防ぐため、ネットリテラシーの向上を図ることが必要です。

関連するSDGsのゴール

**取組方針**

- 青少年が活動できる場の提供
  - 青少年の自主的な学習・活動の支援など安心して安全な居場所として、青少年交流プラザや他の公共施設の認知度を向上させ、活動の場を更なる利用を促進します。
  - 団体・サークルの活動などへの青少年の参加促進を図るため、情報発信・提供を強化します。
- 青少年健全育成の担い手の養成・確保
  - 講習会などを通じてリーダーとなる青少年の主体性や社会性を育むとともに、子ども会等、こどもの集団の担い手を育成します。
  - 青少年が家庭や学校とは異なる対人関係の中で社会性、自立性を身につけることができるよう、青少年関係団体の支援に努めます。
- 関係機関・団体との連携強化による健全育成の推進
  - こども・若者の非行防止・薬物乱用防止に取り組み、青少年の健全育成を進めるため、各関係機関・団体と相互の連携強化を図ります。
  - 経済的な困難、いじめ、不登校、ひきこもり、ヤングケアラーなど、社会的に困難を抱えるこども・若者やその家族に対し、社会的孤立を防ぐため、相談事業の充実や様々な機関が連携するネットワークを構築し、重層的な支援を推進します。
- 青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備
  - インターネット等におけるいじめ防止や有害情報から守るため、SNS等のコミュニティサイトをはじめ、携帯・スマホ等の安全・安心な使い方、ネット社会でのルールやマナーを習得するための取り組みを推進します。

**取組方針 指標**

指標	現状値	目標値
この1年にサークルや趣味を目的とした活動や地域などの活動に参加したことがある青少年の割合	**	**
青少年指導者の登録者数	**	**
地域連携により実施した青少年健全育成事業数	**	**
青少年相談をうけて状況が改善された青少年と関係機関・団体との連携強化を図ります	**	**
「どこにも助けてくれる人がいない」「どこにも相談できる人がいない」と感じるこども・若者の割合	**	**
SNSやスマートフォン等の安全な利用方法を学んだことがあるこども・若者の割合	**	**